



ほけんだより

平成29年9月
大田区立保育園

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。いざという時のために、防災グッズや救急用品は決まった場所に保管し定期的に中身をチェックしましょう。今回は、身の回りの物でできる、簡単な応急手当の方法と備えておきたい救急用品を紹介します。

備えておきたい救急用品

ケガをした時、すぐに手当ができるように準備をしておくとう便利です。
お子さんの手が届かない、すぐに取り出せる場所に保管しましょう。

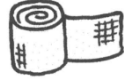
□体温計



□絆創膏



□包帯



□ガーゼ



□脱脂綿



□綿棒



□はさみ



□毛抜き



□湿布薬



□化膿止め



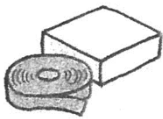
□虫刺され用塗り薬



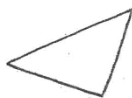
□消毒薬



□テープ類



□三角巾



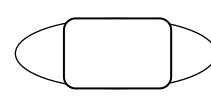
□使い捨て手袋



□ポリ袋



□マスク



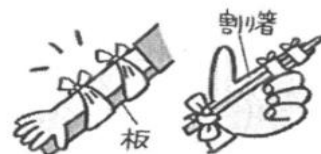
身の回りの物で代用できる応急手当

◎骨折や脱臼などが疑われる時、新聞紙・雑誌・板・割り箸などがそえ木の代わりにになります。
ラップ・ひも・タオル・ハンカチなどが包帯の代わりに固定できます。

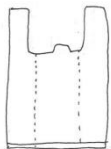
〈例1〉



〈例2〉



◎レジ袋が三角巾の代わりにになります。



両脇のマチ部分を切る



腕を入れる



首を入れる



このように固定する

◎すり傷や切り傷は流水でよく洗ったあと（水が無い時は消毒薬を使います）、タオルやラップで傷を保護します。

